

◇就任のご挨拶◇

全日本写真連盟 関西本部長

全日本写真連盟 大阪府本部長

(朝日新聞大阪本社映像報道部長)

橋本 弦



7月1日付けで朝日新聞大阪本社映像報道部担当部長に就任し、前任の中田から引き継ぎ全日本写真連盟関西本部長、大阪府本部長を拝命した橋本弦と申します。入社は1998年。埼

玉県川越市出身で、初任地は記者研修のため赴任した高知支局でした。大阪本社写真部(当時)で報道カメラマンのキャリアをスタートし、北海道支社、東京本社、記者として赴任した広島・福山支局を経て、再び大阪に戻って10年となります。大阪での暮らしも通算16年。地盤はすっかり大阪になっております。

写真との「出会い」は学生の時でした。高校から大学浪人時代にかけて、息抜きと称してむさぼるように大量の映画を見ており、大学生になったら映画を撮るぞと心に決めていた当時の私。映画の撮影には写真の知識も役に立つのではと入った写真サークルで、暗室作業に出会いました。ほの暗い部屋でひとり、薬品に浸した印画紙にじわっと現れる像を待つあの時間に魅了され、東京近郊のニュータウンや開発中の湾岸地域などをスナップ撮影しては暗室に籠もる日々が続きました。気がつけば、学業はほぼ手に付かず、撮影の仕事のアルバイトでフィルムや印画紙、薬品代に生活費を稼ぎながら、「このまま写真の道で生きていこう」と覚悟を決めていました。

入社以来、報道写真の世界に携わり、国内外のいろいろな出来事や風景を目にしてきました。それはとても刺激的で得がたい経験でもありましたが、各コンテストの審査で皆さんが撮影されたたくさんの写真に接し、学生時代に初めて出会った「写真」への、感動や驚きのよう

なものが甦ってきました。カメラを手に自分を

取り巻く身近な世界を見つめ、「発見」し、「私のモノにする」という興奮。なにげない気づきや視線にハッとさせられます。これから、皆さんが撮影されたたくさんのハッする写真と出会えるのを楽しみにしています。よろしくお願

ちん電コンテスト

100年以上も大阪の下町を走り続けている

ちん電【阪堺電車】

<下町情緒豊かな街並みを撮ろう!>



応募締切：2025年1月31日(金) 消印有効

応募料：会員1,000円

一般2,000円

応募作品：未発表、テーマに沿っている事

応募点数：一人5点以内

応募サイズ：単写真はA4のみ、組写真はA4

写真4枚以内

応募先：〒530-0005 大阪市北区中之島2-3-18

全日本写真連盟 大阪府本部

ちん電写真コンテスト係

詳しくはホームページ、チラシをご覧ください

支部選抜作品展

同時開催「春の撮影会」優秀作品展

全日本写真連盟大阪府本部主催の支部選抜作品展は8月29日、盛況の内無事終了しました。

今回は22の支部が参加され、44枚のバラエティーに富んだ作品が展示されました。後半のろのろ台風10号接近の中ではありませんでしたが、来客総数4,000人を超える作品展になりました。

猛暑の中、ご来場いただいた皆様に支部選抜作品展 参加支部を代表してお礼申し上げます。

ありがとうございました。

今後とも全日本写真連盟大阪府本部にご協力をよろしくお願いいたします。



第81回朝日写真展 作品募集

【応募規定】テーマは自由。1人5点以内。3年以内(2022年1月以降)に撮影した未発表作品。単写真はA4。組写真は4枚まで

【応募料】会員2,500円 WEB会員・非会員3,500円(点数に関係なく一律)

振込先は関西本部 HP・チラシで

【応募方法】チラシ裏面の応募申込書(コピー可)を使用。必要事項を明記の上、作品1枚につき作品票1枚を裏面に貼付。

【応募締切】2025年1月24日(金)消印有効

【応募先】〒530-0005 大阪市北区中之島

2-3-18

全日写連関西本部

「朝日写真展」係

【発表】フォトアサヒ誌面、朝日新聞紙面、全日本写真連盟HP

【賞】朝日大賞1点、朝日特別賞2点、朝日賞5点、入選20点

【お問い合わせ】全日本写真連盟 関西本部
TEL: 06-6201-8006

※詳細は関西本部 HP・チラシをご覧ください

全日本お城写真コンテスト 2024

「全日本お城写真コンテスト2024」には122人、444点の応募がありました。

大阪府本部から以下の6名が入賞されました。おめでとうございます。

入選 「天下のチュー」 上原弘士



入選 「城下に暮らす」 木村 薫



入選「祭りの夜」 古地愛子



入選「伊賀忍 見参！」 嶋田 博



入選「春夕焼け」 清水潤三



入選「監視の『目』」 馬場章夫



読者の広場

<第 47 回フォトクラブ 707 展>



【フォトクラブ 707「舌」西岡有紀子】

「キャットタワーでくつろいでいるところを撮ろうとスマホを構えていたところ、大きな欠伸をしたので慌ててシャッターを押しました。

猫の舌のザラザラ感までバッチリ写っていたので、最近のスマホはすごいなと関心しました。

写真の猫はまだ子猫ですので、これからの成長が楽しみです。

<船出写真倶楽部第 28 回作品展>



【船出写真倶楽部「待つ」森いさみ】

今年の 2 月、撮影会の為大阪城の梅園に向かって歩いていると車道に留めてある車を何気なく見た時車中の仮面が目に入り「これはフォトジェニックだ」と感じました。

車の窓にビルや街路樹が映り込み仮面が「浮かびあがって見える位置を定めてシャッターを押しました。

イメージ的には撮れた様に思いますが画質が浮かばずもっと熟考の余地があると反省しています。

しかし偶然の出会いには感謝です。

<高槻支部第60回写真展>



【高槻支部「湖畔の記憶」坂手探岳】

高槻支部の月例の撮影会で、2024年2月に滋賀県近江八幡市の西の湖周辺を撮影した組写真3枚です。

この辺りはラムサール条約湿地にも登録されているヨシ原を中心とした有名な湿地帯で、内湖の周辺には様々な小動物や貴重な水鳥などが生息していて、まさに自然の宝庫ともいえます。

まだ寒い時期でしたが好天に恵まれ、近江八幡の駅前でレンタルした自転車を駆って、湿地を取り囲むように造られた「びわ湖よし笛ロード」というサイクリングロードを駆け回って撮影しました。

展示用に3枚の組み写真を作る時に、西の湖周辺のまだ春が遠い湿原やヨシ原の寂しさと、それでも何か心のふるさとのような、ノスタルジックな雰囲気を感じさせるような写真にしたかったので、現像ソフトでモノクロに変換したあと、全体の色調を黄ばんだ感じに調整して、なおかつ昔のガラス乾板を焼き付けたような枠を写真の周囲に付けてからプリントを完成しました。

コンクリートに囲まれた無機質な空間でのモデル撮影会

2022年度より「立ち入り禁止の地下トンネル」での撮影会を実施してきました。参加人数制限の中、多数ご参加いただきました。本年度も下記のとおり実施を計画しています。多数のご参加をお願いします。

--- 記 ---

日時：2025年2月中旬から下旬（平日）
場所：竜華みらいセンター（下水処理場）

JR 関西本線「久宝寺」駅 200m

今回は、地上建屋内外での撮影会となり、足腰に自信の無い方でも参加し易くなっています。詳細は、1・2月合併号のチラシをご覧ください。
平日の撮影会となりますが、多数のご参加をお待ちしています。

〒530-0005 大阪市北区中之島 2-3-18

全日本写真連盟大阪府本部

Tel:06-6201-8006 Fax:06-6201-0285

メール: nissyaren@osaka.email.ne.jp

写真展のご案内

第2回アマテラス写真展

12月17日（火）～12月22日（日）

江之子島文化芸術創造センター

◎見ないと損ですよ◎

最近は「You Tube」を見る人も多くなっていますが、全日本写真連盟でも動画配信を行っています。写真に関する興味ある動画を沢山見ることができます。

<<全日本写真連盟チャンネル>>

- ・コンテストの講評
- ・プロ写真家の撮影指導
- ・「全日本写真連盟アカデミー」
- ・役立つ情報満載

全日写連チャンネル

